

「キヤラチ」

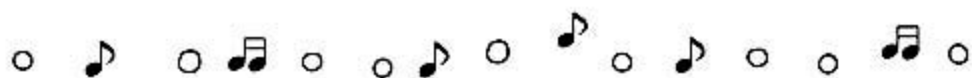
GATCH

VOL.87

2018.7



西東京市図書館



読書の夏！

今年はサクサク系？ガッツリ系？

文章の読みやすさや、文体、気軽に読めるかどうかを「サクサク度」、物語のボリュームや、テーマの重さや深さを「ガッツリ度」で表しました。読書感想文のヒントにもどうぞ！

『レインツリーの国』

有川浩 著 新潮社

活字が苦手なあなたへ！

サクサク度★★★ ガッツリ度★☆☆

今回、読書感想文にピッタリな本ということで有川浩さんの『レインツリーの国』を紹介します。この本は、なにかを求めている青春まっただ中の中高生にオススメの恋愛小説です。

きっかけは一冊の本でした。主人公の伸行は子供のころに読んだあるライトノベルを思いだし、その本の感想を知りたくなり検索していたところあるブログに出会います。タイトルは『レインツリーの国』。管理人のひとみの自分とは全然違う感性に、伸行は心をひかれ思わずメールを送ります。そこから始まったメールでの、ふたりの交流。メールを重ねお互いのことを知るうちに本音が言える大切な存在になっていきます。伸行はどうしても、ひとみと直接会って話してみたいと思うようになりデートに誘うのですが、ひとみには会いたいののに会いたくない理由があるのでした…。

素直なのに不器用なふたりの心あたたまる、まっすぐな恋愛小説です。

有川浩さんの本はとても素直に感情をぶつけていて、サクサク読むことができます。さらに、この物語には登場人物がふたりしかでてこないの人物覚えるのが苦手かも、って人でも無理なく楽しむことができます。そして最大の特長は、内容はとってもおもしろいののに全然分厚くないんです！だまされたと思って借りてみてください。あんまり読書になれてない人も、読みたいけど時間がない！って人もみんなが楽しめるオススメの一冊です。

『季節風 夏』

重松清 著 文藝春秋

スキマ時間にバツと読みたいあなたへ サクサク度★★★ ガツツリ度★★☆

この本は、「夏」をテーマした12篇の短編が1冊にまとめられた本です。目次から、自分が気になる話を読んでもよし、始めから読んでもよし、個人の自由です。また、夏休みの読書感想文に追われている人も、最終手段でこの本の中から一つ選んで書くのもいいでしょう。

さすがに、12篇の話のあらすじを紹介するのは大変なので、この中から、私の好きな話を紹介します。

親知らずに悩まされる一人のおとこがいた。「歯医者に行ったら？」妻にそう言われてもあまりよい返事はしなかった。彼はいい歳になっても歯医者が嫌いなのだ。その理由は、ただ単に歯医者が痛いからではなく、待合室に貼ってある虫歯予防のポスターが嫌だったのだ。そのポスターに書いてある悪魔のような人が、土木工事の作業員をしていた彼の父に似ていると友達に言われたのが原因だった。似ているからといっていじめられたことはなかったし、恥ずかしい思いもしなかった。けれど、なぜかそのポスターを見るとうつむいてしまう。

歯医者に行きたくない一心で痛みを耐えてきたが、限界を迎え、いやいや歯医者に行った。待合室で待っていると、怖がって母親に反抗している幼い少年を見た。その姿を見て、男は自分が幼い頃、母に連れられて歯医者に行き、虫歯を4本抜いた日を思い出す。医者に怒られながら痛みをこらえ、歯を抜くのに疲れ切ってしまい、母に背負われながら帰ったあの日。口がしびれて、うまく「おかあさん」といえなかった。そんなことを思い出しながら彼は母の死を改めて感じたのであった……。

この話は1番目にある話なのですが、読んでいてとても自分の心に響きました。また、重松清さんの文章の書き方によって、より物語にはいることができました。

この季節風は、春・秋・冬もあります。ぜひ、それぞれの季節に合わせて読んでみて下さい。

『ルナティックガーデン』

太田忠司 著 祥伝社

手軽に非日常を味わいたいあなたへ **サクサク度★★☆ ガッツリ度★★☆**

人類が、特殊な訓練などを受けることなくエレベーターで月まで行けるようになった 21 世紀後半。主人公エチカは、アデル・コープのもとで庭を造る仕事をしている。ある日、月に住むタッド・モリスの屋敷―“オンルッカー・ハウスに庭を造る”という計画の最高責任者として、月で仕事することになった。しかし、庭を造るために必要な土の運搬に地球のどこかの団体が、文句を言いだしてきた。さらに、“オンルッカー・ハウス”に住むタッド・モリス以外の住人たちは一癖も二癖もあるような人ばかりで……。

メインストーリーである庭造りに加えてハウスの住人たちが、それぞれの形でストーリーに絡んでくる。(……ちょっと人数が多いが。)これが終盤で、どのように関わってくるのかもひとつの読みどころでもある。

表紙のデザインは、全天図(全ての星座が描かれている空の地図の事)が描かれていて、ちょっとオシャレな装丁となっている。実際、装丁に惹かれてこの本を手にとった。専門的な用語が若干多いが、しっかり説明されているので、極端に読みにくいということはないと思われる。

『ノルウェイの森』上・下

村上春樹 著 講談社

「死と生きる」ことについて考えたいあなたへ

サクサク度★★☆ ガッツリ度★★☆

自殺した親友キズキ、その恋人の直子にワタナベが再会したのは、彼が亡くなってから 1 年後の、中央線の電車の中だった。高校を卒業し、各々の大学生活によりやく慣れてきた頃だ。何気ない会話をしながらひたすら散歩する日曜日、そしてそれが二人の習慣になった時にはワタナベはすっかり直子のことを愛していた。しかし、上手く言葉を見つけて喋れないことを悩んでいた直子は、二十歳の誕生日、とうとう我慢が祟^{たた}ってワタナベの元を離れ、遠く京都の精神科の療養所^{はつらつ}へと入ってしまう。

その頃、ワタナベは同学部の澁^{はつらつ}漑とした女性、緑に大学近くのレストランで出会う。彼女に振り回されて色んなところで緑の話を聞かされているうちに、緑はワタナベのことを気に入り、ワタナベはそれに応えるように

なっていた。しかし、そこにはいつも直子の思い出がちらついて――。

二人の女性を別の形で愛すようになるワタナベだが、今までの人生の中で繰り返された出会いと死という別れを通して身に就いた、他人に深入りしすぎないような付き合い方が仇^{あだ}となって彼を苦しめる。地図の研究をする突撃隊、天才肌の永沢、その恋人の誰もが魅力的に思ってしまうハツミさん、療養所で直子の世話をしてくれているレイコさん。そうした彼を彩るように関わりを持つ人々と、様々なかたちで折り合いを付けつつ、ワタナベが向かっていく二十歳の先とは……。

「死と生」ではなく、「死と生きる」とはどういうことなのか、という大変重いテーマを扱うことになる作品です。ですが、重い分書くことはいっぱいあるのだから、結果的に書きやすいのでは……？ と思い紹介してみました。今年の感想文は、思いっきり難しい題に、いっそ体当たりしてみませんか？

『かあちゃん』

重松清 著 講談社

深いテーマでどんどん読みたいあなたへ

サクサク度★★★ ガッツリ度★★★

取り返しのつかないことをしてしまったとき、あなたはどのようにしているだろうか。この話には、そのようなことをした人物がたくさん登場する。しかし、どの人も悪気があったわけではない。もう一度聞くが、あなたならどうする？ この本を読めばその答えが見えてくる。

『かあちゃん』は連作小説である。事故死した夫のことより、その事故に巻き込まれて亡くなった人のことを思い謝り続ける女性。人の誘いを断れずかつての親友をいじめてしまった男の子……。登場人物の誰もがそのことに苦しむ姿は読んでいる方も苦しく切なくなる。そして、今紹介した2人だけを見ても、全く関わりが感じられないが、実は連作というだけあって、どの話もととても強く結ばれている。どうつながるかにも注目しながら読んでみてほしい。

今回は、どんどん読めるという特集テーマで本を紹介させてもらった。けっしてうすっぺらい本ではないので「すぐに読み終わる」といったらうそになる。しかし、続きが知りたくてどんどん読んでしまうという点では「スラスラ読める」ということもできるだろう。

重松清らしく、細やかな心情が描写されている。ぜひ読んでみてほしい。

YA!YA!ひろば



ひばりが丘



谷戸



家に無事

帰れてよかった!

笑

絵上手です!!

ありがとう

ごさうじやう

(今後(ふたぎを)
心配ないようによろ)

イラストに文字を入れたくないのでコメントでお願いします。

初回は、名前(の思い)がテーマで「無」をテーマにした。

さいや
「か」をテーマにした「家」にちなんで「か」をテーマにした(お)イラストが分かる
かなー... = 水 取 1 年 2 月 2 日。ATR がおかす。ひまわりたのしかりにふ
す = かった(読者)。紙も切れるし、23を3 親が帰る(お)はのて = 3 通り
たてし



いつも楽しみのして
くれてありがとוג"さ"
います!うれしいです

絵、とてもかわいく
上手です。
これからもよろしく
おねがいします!!

はじめまして!
いつも「キャチ」のしみにしてます。
最近「からくさ図書館来客簿」という本にハマってます。
行ストは時子様です。難しかたです。(笑)
本物はもとされてすわいいです。
皆さんもよかたら
ぜひよんでみてください。



胸をうたれる絵です!
とても上手です。

みんなヒーローに
あこがれます...

でも、つらいときは
泣いていいんだと笑

「13歳からの経済のしくみ・ことば図鑑」

花岡幸子 著 WAVE 出版

最近ニュースなどでよく耳にする「ビットコイン」。

円やドルといった通貨と違い、目に見えない通貨（仮想通貨といいます）の一つとして、話題になっています。

経済とは、「お金」「モノ」「サービス」のやり取りの流れのことを指します。私たちは働いてお金を稼ぎ、そのお金を「モノ」や「サービス」に交換していますね。このやり取りの流れの中で出沒するさまざまな“ことば”をまとめたのが、本書です。テレビや新聞などで耳にする経済のことばがわかるようになると、ニュースがわかり、そして世の中の流れ・しくみが理解できるようになります。

私たちの生活を支える経済のしくみを理解することは、これから生きていくための力の一つになるでしょう。

編集後記

気がついたら、もう夏になりましてね、
(年寄りよこはな?やめろ!!)
日々の忙しさに加えて、今年の読了冊数が
5冊程度で... (泣)
おわり読めてないけど、(やりだしたけど多いけど)
おどけはいつも持ち歩いてはいる うん。
夏休みきたら、もうちょっと読みます(><)
mi

はじめましてです！本を読むのは
けっこう好きです。色んなこと知りたい
のでジャンル問わず読めます！
自己紹介みたいになってしましまし
たかよろしくお願ひします！
次回はなんかかこいいこと書きた
いです。pp 耕太郎

この前本屋に行ったら、自由研究用
のキット見たらものばスリッパと
並んでました。さすがに中学の自
由研究でキットはダメだろかいって、
個人的にヤツミタイ... (おれは)
それじゃあモロモロ、今年の夏は色々サ
イ...!! (!!) ひかる

最近、暑くて、7月にはいい
にこになります。今年にはあんまり
あそびに(行く)は(行)けな(い)い
(中3(から))でも中学最後(まで)
(遊ぶ)に(行く)~(ひかるちゃんの
コメント(思)った笑) ひまり